

## 2025 年度 ニチキッズ堺駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～2月20日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月16日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	一人ひとりの子どもの発達を踏まえたうえで、保育理念『おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ』に基づき、乳児期にふさわしい経験ができ、充実した保育内容になるよう努めた。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの心身の発達を理解し、安全を見守りながら、それぞれのペースで成長していけるよう子どもに合わせた支援や、声掛けを意識してきた。子どもの主体的な遊びを意識しているが、難しさを感じる場面もあり今後も環境整備の工夫をしていきたい。
保護者に対する支援	登降園時の短い会話でも、こまめに情報を共有し信頼関係を築けた。保護者と協力しながら子どもの育ちを支え、成長やよろこびなど情報を共有し、よりきめ細やかな支援と連携を継続する。
保育を支える組織的基盤	やさしく温かい保育を心掛けながら、社外研修やキャリアアップ研修等、自己研鑽を積み各職員の意識の向上が図られた。定期的な職員面談、職員会議を実施し、次年度もスキルアップを図っていきたい。

総評
<p>子ども一人ひとりについての話し合いや連携をとり、スタッフ全員で子どもたちを見守るという意識の中、声を掛け合ってよりよい保育をめざしてきた。しかし子どもの些細な変化や興味を知ることで、一人ひとりの気持ちに寄り添えた反面、室内遊びの中で、遊具が固定化してしまう傾向があった。子どもの発達に合わせた遊びのアイデアを、スタッフ全員で考え取り入れていきたい。</p> <p>保護者支援では、家庭と保育園との子どもの様子を互いに把握し、共有しながら丁寧な取り組みを行ってきた。次年度も保護者の皆様に安心して保育園をご利用いただけるよう、より一層努力していきたい。</p>